小学校だより

平成 28 年 2 月 4 日
第 21 号
五條市立西吉野小学校

家庭の役割　～子どもの健やかな成長のために～

◇奈良県教育委員会　「家庭教育７か条」

1　あいさつをする習慣をつけさせよう　　2　決めた時刻に寝る習慣をつけさせよう
3　身の回りの片付けをする習慣をつけさせよう　4　手伝いをする習慣をつけさせよう
5　してよいこと、してはいけないことをしっかりと教えよう
6　家族で会話をする機会を増やそう　　7　友だちと外で遊ばせよう

◇「お」がとれたり、くっついたり…。さて、みなさんはどう思われますか。

①『おふくろの味』の「お」がとれて、『ふくろの味』になっている。袋に入ったインスタント食品やレトルト食品が、家庭の食卓の中心になっているということはありませんか。ある人が言いました。「便利さばかりを追い求めてはいけない。おにぎり一つでも、炊きたてのほかほかのご飯を手でにぎるからおいしい。熱くて手は真っ赤になるかもしれないけれど、その親の愛情が子どもにも伝わるのだ。」

②『しつけ』に「お」がくっついて、『おしつけ』になってしまっている。親は子どもに、「はよしい！」「勉強しい！」と、勉強ばかりを『おしつけ』、本来家庭でしなければならない人として生きていく上で必要な『しつけ』は、学校やその他の機関に『おしつけ』ている。

◇有名な道歌（道徳的な教えをわかりやすく詠み込んだ和歌）を紹介します。

「やって見せ　言って聞かせて　させてみて　ほめてやらねば　人は動かじ」
「話し合い　耳を傾け　承認し　任せてやらねば　人は育たず」
「やっている　姿を感謝で　見守って　信頼せねば　人は実らず」

◇最後に詩を一つ

抱きしめる、という会話

作者不詳

子どもの頃に抱きしめられた記憶は、ひとのこころの、奥のほうの、
大切な場所にずっと残っていく。
そうして、その記憶は、優しさや思いやりの大切さを教えくれたり、
ひとりぼっちじゃないんだって思わせてくれたり、
そこから先は行っちゃいけないよって止めてくれたり、
死んじゃいたいくらい切ないときに支えてくれたりする。
子どもをもっと抱きしめてあげてください。
ちっちゃなこころは、いつも手をのばしています。

※子どもたちの学校での様子等をブログで紹介しています。西吉野小学校ＨＰを開いて学校ニュースをご覧ください。スマホ等でも見ることができます。